

オーチャードグラス奨励品種「まきばたろう」

畜産試験場

1 取り上げた理由

採草・放牧兼用牧草として平成 23 年春から流通開始されるオーチャードグラスの中生品種「まきばたろう」について、品種登録以前に宮城県畜産試験場において検定試験を行ったところ、その成績から高位生産が期待できると認められたので、普及技術とする。

2 普及技術

- 1) 「まきばたろう（畜産草地研究所育成，系統名：那系 27 号）」の品種特性は以下のとおりである
 - a 出穂始期は早生の県奨励品種「アキミドリⅡ」より 10 日遅く，中生の元県奨励品種の「マキバミドリ」*より 3 日早い，中生品種である。
 - b 元奨励品種「マキバミドリ」*と比較して収量性や永続性に優れ，経年による収量性の低下が低い。
 - c 元奨励品種「マキバミドリ」*と比較して，秋の草勢が優れ，季節生産性の分布が良好である。

*「マキバミドリ」は種子供給終了に伴い平成 23 年 2 月に県奨励品種から廃止された。

3 利活用の留意点

- 1) 栽培管理については牧草・飼料作物（県奨励品種）の栽培の手引を基本とすること。
- 2) 早生品種（例：アキミドリⅡ）と「まきばたろう」をほ場別に作付けすることにより，収穫適期を広げることが可能。



図 1 まきばたろう（撮影 畜産草地研究所）
（問い合わせ先：畜産試験場草地飼料部 電話：0229-72-3101）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

牧草系統適応性検定試験（平成14年度～17年度）

2) 参考データ

表1 生育特性（3年間平均）

品種名	発芽の良否 ^{注1}	定着時草勢 ^{注1}	秋の草勢 ^{注1}	出穂始期			
				H15	H16	H17	平均
まきばたろう(那系27号)	5.0	5.0	5.2	5/11	5/11	5/14	5/12
マキバミドリ(標準品種)	4.5	4.5	4.5	5/14	5/13	5/19	5/15

(注1) 発芽の良否・定着時草勢・越冬性の評価法：極良を9，極不良を1とする評価法

(注2) 病虫害・倒伏：無を1，甚を9とする評価法

(参考) 類似条件で奨励品種の「アキミドリⅡ（早生）」で栽培試験をした結果，アキミドリⅡの平均出穂始期は5/1(H15:5/1, H16:4/28, H17:5/4)であった。

表2 季節別収穫時草丈及び乾物率

品種名	草 丈 (3年間平均, cm)			乾 物 率 (3年間平均, %)			
	春期	夏期	秋期	春期	夏期	秋期	季節平均
	まきばたろう(那系27号)	90.3 (105.7)	83.5 (101.5)	68.0 (109.5)	21.9 (102.3)	22.2 (98.7)	22.9 (95.8)
マキバミドリ(標準品種)	85.4	82.3	62.1	21.4	22.5	23.9	22.6

※春期：4～6月収穫番草の平均，夏期：7～9月中旬収穫番草の平均，秋期：9月下旬以降収穫番草の平均

※()内は標準品種(マキバミドリ)を100とした値

※刈取回数：H15：6/3～10/27に4回，H16：5/18～10/14に4回，H17：5/26～10/23に4回

表3 年度別及び季節別乾物収量

品種名	年次別合計乾物収量(kg/a)					季節別乾物収量 (3年間平均 kg/a)		
	H14	H15	H16	計	H16/H14	春期	夏期	秋期
	まきばたろう(那系27号)	120.6 (98.0)	164.4 (110.8)	134.5 (102.1)	419.5 (104.1)	111.5 (104.1)	50.7 (109.0)	63.1 (97.2)
マキバミドリ(標準品種)	123.0	148.4	131.7	403.1	107.1	46.5	65.0	22.9

※春期：4～6月収穫番草の平均，夏期：7～9月中旬収穫番草の平均，秋期：9月下旬以降収穫番草の平均

※()内は標準品種(マキバミドリ)を100とした値

※刈取回数：H15：6/3～10/27に4回，H16：5/18～10/14に4回，H17：5/26～10/23に4回

3) 発表論文等 なし

4) 共同研究機関 なし